

内閣府 食品安全委員会からのお知らせ

内閣府 食品安全委員会は、食品に含まれる可能性のある農薬や食品添加物などが健康に及ぼす影響を科学的に評価する機関（リスク評価機関）です。

国民の皆様に対し、その活動や委員会からのお知らせについて、ホームページ、メールマガジン、Facebook、季刊誌「食品安全」でお知らせをしています。

内閣府

食品安全委員会ホームページ

食品安全委員会や意見交換会等の資料や概要、食中毒等特定のトピックに関する科学的知見等を随時掲載しています。

特に国民の関心が高いと考えられる事案については、「重要なお知らせ」又は「お知らせ」を活用して情報提供を行っています。

メールマガジン

食品安全e-マガジン



食品の安全性に関する情報を
3つの種類のメールでお届けしています。

	主な配信内容	配信日
ウィークリー版	○食品安全委員会の開催結果や開催案内 ○リスクコミュニケーション(意見交換会などの開催案内)	毎週水曜日(原則)
読み物版	○実生活に役立つ情報 ○安全性の解説 ○食品の安全性に関するQ&A ○委員の随想	月の中旬と下旬
新着情報	【ホームページ掲載情報】 ○各種専門調査会などの開催情報 ○パブリックコメントの募集	ホームページ掲載当日 (19時)

公式 Facebookページ



食品の安全性に関する身近な情報をお伝えするために、Facebookページによる情報の配信を行っています。

ご登録方法などは、こちらです。

内閣府

食品安全委員会ホームページ

<http://www.fsc.go.jp>




メールマガジン

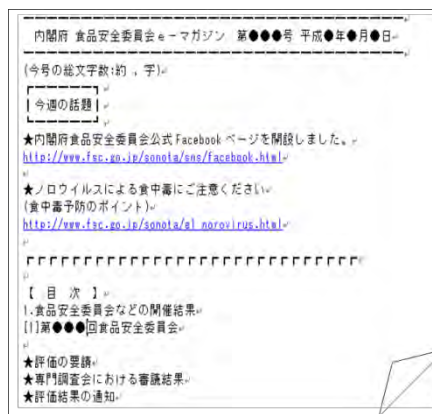
食品安全e-マガジン

ご登録は、食品安全委員会のホームページから



 ホームページ左側下方の
こちらのバナーをクリックしてください♪

http://www.fsc.go.jp/sonota/e-mailmagazine/e_new_mailmagazine.html



内閣府 食品安全委員会 e-マガジン 【読み物版】平成●●年●●月●●日配信

ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎(細菌又はウイルスによるおう吐、下痢を主症状とする部-
類)は、特に冬に流行するとされています。ノロウイルスは、手指や食品などを介して感染し、下-
痢、おう吐、吐き気、腹痛などを起こします。子供や高齢者は、ノロウイルスに感染した場合に重篤-
化しやすいので、特に注意が必要です。

ノロウイルスとはどんなウイルス?

ノロウイルスとは、とても小さなウイルスで、直径 30~40nm 前後で、球形をしています。少量でも人-
のおなかの中で増えて、食中毒を起こします。

潜伏期間と食中毒の症状

発症までの潜伏期間は 24~48 時間程度です。下痢、おう吐、吐き気、腹痛、発熱(一般的な程度) 37~38℃)などの食中毒の主な症状です。おう吐は、突然、急激に起こることが特徴的です。これら-
の症状は、1~2 日程度継続してから治癒するとされています。

原因食品

調理従事者からの二次汚染を主な、飲食店、家庭等の施設で提供される料理、仕出し及び弁当などがあ-
ります。その他の原因としては、生産地域の海水の汚染等による貝類(二枚貝)があります。

公式 Facebook ページ



<http://www.fsc.go.jp/sonota/sns/facebook.html>



いいね!

